

日頃【よろこびのうた】を聴いていただいた皆様より、この歌についてのエピソードを聞かせてというお声をたくさん頂きます。何かを感じてくださったのかしらと感激でいっぱいです。いつも応援を本当にありがとうございます！！

この曲をレコーディングしたのは1996年11月1日でした。この日のことは、たぶん私の人生のなかでも忘れることのできない体験となることでしょう。あの時から本当にさまざまな出来事や出逢いが広がって、学びと気づきの日々が続いています。

まずは、この歌との出会いについて少しお話してみたいと思います。その頃の私は、メキシコの歌を中心に活動していたトリオ・グループにボーカルとして参加していました。中南米と縁ができてフォルクローレを歌うことになるうとは、夢にも思っていなかった展開でしたが、出会いとは本当に不思議なものです。ご縁が繋がって繋がって、気がつけば道ができていて、いつの間にかステージに立って歌っていたというのが正直なところでした。

ある日、メンバーのリーダーより、メキシコ民謡【LAS MAÑANITAS】という素敵な歌を教えてくださいました。現地では、お誕生日やお祝いのおき歌われているとのことでしたが、私は、曲はもちろんのこと、スペイン語の歌詞と共に教わった日本語の訳詞が大好きになりました。これが【よろこびのうた】の原曲です。

グループと一緒にあるレストランのライブに出演していた頃のこと。お客様の中にとっても素敵な年配の御夫婦がいらっしゃいました。私たちは、何かの記念日でいらしていることを悟り、何曲か歌った最後に【LAS MAÑANITAS】をプレゼントしました。私たちが歌い終わると「本当にありがとうございます。こんな素敵な記念日は生まれてはじめて」と、奥様が目にいっぱい涙を浮かべ、私の手をぎゅっと握りしめて下さいました。この歌がもっている見えない力とエネルギーを強く感じた瞬間でした。

そんなステキな体験をひとつひとつ重ねていくうちに、【よろこびのうた】はいつのまにか、自然な流れの中で私にとっての大切な大切な1曲になっていきました。今まで細胞の奥に眠っていた『よろこび』が、からだの中から沸きあがってくることを、この歌にとっても体感していきました。1曲の歌を通じてこのような体験ができることは本当に幸せなことだと思います。私は【よろこびのうた】にたくさんのことを教えられています。

1992年、グループのメンバーと一緒に訪れたメキシコでは、すてきな子供たちとの出会いがありました。私たちはメキシコシティにある学校でチャリティーコンサートをやりました。演奏会場に入った途端、スペイン語で歌うことに少しプレッシャーを感じていた私を、キラキラまぶしいほどの笑顔の子供たちが透き通るような美しい賛美歌でむかえてくれたのです。それはまるで、光りのシャワーをあびたような感動でした♪♪ 思いがけぬ歓迎に涙がとめどなくあふれてきました。気がつくときココロの中は『ありがとう！ありがとう！ありがとう！』という気持ちでいっぱいになって夢中で歌っていました♪♪ そして、とっても不思議な体験だったのですが、このコンサートの途中、生まれてはじめて天使の存在も感じました。そのお話はまたいつかの日に…（笑）

旅の後半にはマヤの遺跡見学もしました。日本人は私ひとりでしたが、心細いどころか、不思議なくらいに細胞がはじけるほどにうれしくてたまらない自分がいました。海沿いにある『トゥルム』という遺跡は、まるで天国のようにやさしいエネルギーに満ちていました。見学した後立ち寄ったレストランでは、たくさんイルカたちに遭遇できました。イルカはテレパシーが通じると聞いたことがあったので、ダメもと？で（笑）彼らに出会えたうれしさと感謝の気持ちを心の中で伝えてみました。

そうしたらどうということでしょう！！なんと、一頭のイルカが私の方へ泳いきて、葉っぱを輪にしたリーフを一生懸命にプレゼントしてくれようと立ち泳ぎをしているではないですか！！自分の目を疑いながらも（気持ちがちゃんと通じたんだなあ〜）と、うれしさと幸せをいっぱい感じつつ、イルカにお礼を言ってバスに乗り込みました。ホテルへ向う車中で、お客さんたちがお誕生日の人を囲み【LAS MAÑANITAS】を歌い出しました。もちろん！！私もみんなと一緒に歌いました♪♪ バスの窓から素晴らしい夕陽が大きくオレンジ色に輝いていました。

【LAS MAÑANITAS】をからだいっぱい感じられた感動的な一日でした！！

落込んだ時、先が見えなくて恐れを感じてしまった時、私自身がこの歌と、歌を通じて出会った人々、そして、美しい大自然や動物たちに勇気づけられ励まされています。南米の島や、北国の氷の中など、ふと計画もなく突然にこの歌を歌う場所とタイミングがやってくることも少なくありません。たとえそれがどこでも、その瞬間、自分をからっぽにして歌いわかち合えるなんて、なんと幸せなことでしょう。でも、時々、それすらとても難しく感じてしまうこともあります。でも、どの体験も私にとってすばらしい学びと大切なプロセスになっています。この先また、どんな歌や素敵な人たちと巡り会うことができるのでしょうか～楽しみです！私自身の成長のプロセスと共に、この歌をずっと大切に歌い続けていきたいと思っています！

インディーズとしてはじめてCDを制作する上で、ウォンさん御夫妻、プロデューサーの田村実さんをはじめ、御協力や励ましをいただいたすべての方々へ改めて感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました！！

最後になりましたが、歌を聴いてくださっている皆様と、この歌に導いてくれた太陽の国メキシコに、そして、これまでのすべてのご縁に心からの感謝をこめて～ Muchas Gracias !!!